

中小企業地域資源  
活用促進法に基づく



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu



わが市町村の  
ふるさと名物は  
**これ!**



【はっと汁】

**宮城県登米市**

が応援するふるさと名物

『はっと、油麩などの  
小麦の加工品群』



【油麩】



【油麩丼】



**ふるさと名物**  
Furusato Meibutsu

**応援宣言**

地域の  
プロフィール

## 東北を代表する農産物の供給地帯

宮城県登米市は宮城県の北東部に位置し、市のほぼ中央を迫川、東側を雄大な北上川が貫流し、肥沃な登米耕土を形成しています。ラムサール条約指定登録湿地の伊豆沼・内沼には白鳥やガンなどの渡り鳥が訪れる「水の里」です。

登米市の農業産出額は317億円(平成26年度・市独自集計)にのぼり、東北を代表する食料供給地帯となっています。平坦な穀倉地帯で古くから米づくりが盛んにおこなわれており、米づくりの副産物である稲わらやもみ殻を畜産に活用する“耕畜連携”の先進地でもあります。

また、和牛の産地でもあり、飼育頭数は「本州1位」。仙台牛の約4割が登米産牛と言われています。養豚も盛んで県内一の産出額を誇ります。

水田を活用した麦・大豆の生産も盛んに行われており、小麦の栽培についても県内有数の産地となっています。収穫前には、まさに小麦色の圃場が広がります。



肥沃な大地「登米耕土」



多くの渡り鳥が飛来する「水の里」



国指定重要文化財「教育資料館」



桜の名所「平筒沼」



和牛の飼育頭数は「本州1位」



はっとをモチーフにした「はっとん」

# ふるさと名物の内容（はっと、油麩などの小麦の加工品群）

## 1

### 主な地域資源

#### ◆小麦

登米市は県内有数の小麦の産地。特に平成20年に宮城県の奨励品種に指定された小麦の新品種「あおばの恋」は、登米市が県内一の生産量を誇ります。食味が良く、加工用に適しており、麺に加工すればのびにくく、つるりとしたのどごしの食感が楽しめます。

米に代わる転作作物として、大豆とともに生産組織や生産法人などにより作付されており、地域及び集落内での話し合いに基づく土地利用調整の下、生産の組織化、団地化を図り品質の向上に努めています。



あおばの恋

#### ◆小麦の加工品群

今も昔も県内有数の米どころである登米市ですが、お米を満足に食べられなかった時代には、小麦などの雑穀を栽培し、飢えをしのいできました。はじめは米の代用食として、そこから徐々に美味しくさを求めた結果うまれたのが小麦加工品の“はっと”です。

また、収穫したばかりの小麦を加工し、肉の代わりに貴重な栄養源として食べられていたのが“油麩”。

さらに最近では、市内産の「あおばの恋」を活用した商品開発を行っている事業者もあります。

米どころ登米市には、こうした小麦文化に育まれた郷土の味が今も人々を楽しませており、新たな味もうまれようとしています。



開発商品のイメージ

## 2

### ふるさと名物

# ふるさと名物の内容（はっと、油麩などの小麦の加工品群）

## ◆はっと

小麦粉に水を加え、耳たぶ程度のかたさになるまでよく練り、適当な時間寝かせます。その熟生した生地を指で薄く延ばしながら、醤油仕立ての汁に入れ茹で上げます。もしくは、お湯でゆでて、あずき、ずんだなどに絡めて食べます。

このように、出汁や具材は地域や家庭、お店によりさまざま。季節の野菜やきのご類、鰹節、鶏、豚などそれぞれ受け継がれています。

その昔、はっとがあまりに美味しいことから、このままでは小麦づくりに精を出し過ぎて米づくりが疎かになるのではと心配し、この料理を食べることを禁止（法度）するようになり、それ以来「はっと」と呼ばれるようになったと言われています。



市内飲食店の「はっとセット（しょうゆはっととあずきはっと）」

## ◆油麩

小麦粉に含まれるたんぱく質成分のグルテンを練り上げて棒状にし、良質の植物油で揚げたものが油麩です。一般的な油麩は、長さが25cmほど、直径が5cmくらいでフランスパンのような形をしています。

賞味期限は3～4ヶ月と長く、常温で保管も可能。栄養たっぷり、植物油で揚げたのでとってもヘルシーです。

この油麩は味噌汁やそば・うどんの具、煮物などにして食べられていますが、なかでもB級グルメとして全国的な知名度を得たのが「油麩丼」。カツ丼のカツの代わりに油麩を使った油麩丼は、肉が苦手な方のために考案されたメニューです。だし汁を吸った油麩とネギに絶妙に絡む半熟の卵、そして米どころの登米産のごはんが織り成すハーモニーはまさに故郷の味です。



油麩丼のたれ付きセットも販売されています

## 1

### 各種支援策

#### ◆地域団体商標取得への支援

- ・「登米はっと」の地域団体商標の取得に向け、事業協同組合の設立等の支援を行っています。
- ・はっとに関連する事業を行っている事業者で結成する事業協同組合は、平成28年度内の設立を目指しており、設立に向けた意見交換会や幹事会を開催しています。

#### ◆ビジネスチャンス支援事業での支援

- ・地域資源を活かした多様なビジネスに補助金で支援を図る、市単独事業により、ブランド化を推進しています。
- ・商品・サービス等の広告宣伝や知的財産権の取得に要する経費の支援を行う「デザイン・商品力向上支援事業」、商品、サービス等の新たなマーケット開拓に要する経費への支援を行う「新規マーケット開拓事業」で支援を図ります。



はっと関連事業者の意見交換会の様子

#### ◆「登米ブランド認証品」への認証

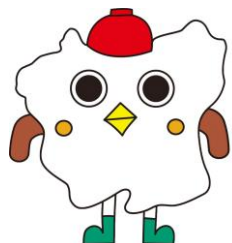
- ・登米地域の農畜産物、農産物加工品、木工芸品のうち、県域を越えた流通を行っていたり、県内でもトップクラスの出荷量を誇る品目、いわゆる“登米の名物”を「登米ブランド認証品」として選定しています。油麩も選定しており、現在2事業者の油麩が「登米ブランド」として認証されています。



「登米ブランド」の認証マーク  
(左：畜産物・加工品・木工芸品、右：農産物)

## 2

### イベント・PR



はっとをモチーフにした“登米市観光PRキャラクター「はっとん」

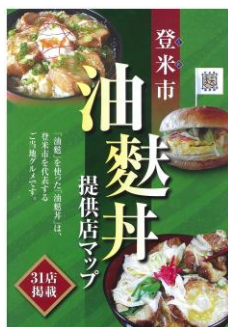
## ◆日本一はっとフェスティバルの開催

- ・市内外からはっと料理が登米市に勢ぞろいする「日本一はっとフェスティバル」は、平成27年度が12回目の開催。35団体が出展し、2万7千人の来場がありました。



## ◆提供店マップの作成

- ・市内のはっとと油麩丼を提供している飲食店（はっと44店、油麩丼31店）を紹介する「提供店マップ」を作成、配布しています。



## ◆油麩丼の会「B-1グランプリ」出展

- ・油麩丼を使っのまちおこしを目的に結成された「とよま油麩丼の会」では、平成21年から「B-1グランプリ」に出展し、市長もPRをしています。



B-1グランプリ出展時は市長も油麩丼を提供しています